

V 活動プログラムについて

1 活動プログラム実施の留意点

- (1) 提出された「活動プログラム」にそって活動してください。ただし、天候等により計画変更の際はご相談ください。
- (2) 活動については、各団体で責任を持って指導にあってください。基本的に職員による直接的な指導は行っていません。ただし、事前に講師依頼された活動（P28参照）については、当施設の講師が指導に当たります。
- (3) 野外活動には危険が伴うことがあります。けがや事故のないように指導にあってください。できる限り事前打合せを十分に行ってください。
事故防止の3原則：「あわてない」「無理をしない」「仲間と離れない」

2 利用前の準備

(1) 事前指導

ねらいにそって効果的な活動ができるように、次のことを説明してください。

- ① 自然の家の利用についてのねらいや心構え
- ② 活動のねらい・内容・方法
- ③ 自然の家での生活の仕方
- ④ 班編制や役割分担
- ⑤ その他

(2) 持ってくる物

- ① 団体に用意するもの
 - 活動に必要な器具 ●救急薬品 ●緊急車両（乗用車1台以上） ●その他、団体に必要なもの
- ② 個人で用意するもの
 - 野外活動のできる服装（夏でも長袖・長ズボンが必要。サンダル履きはおすすめしていません。）
※沢活動の服装については、別冊の沢活動資料集を参照ください。
 - 上履き（運動靴）、雨具、軍手、デイパック ●水筒、懐中電灯、タオル、洗面用具
 - 筆記用具 ●健康保険証（コピー可） ●その他、活動等で必要なもの

3 自然の家に到着したら

(1) 出会いのつどい（入所式）

- ① 各学校・団体に企画し、実施してください。要請があれば、職員も出席します。
- ② 校旗・団旗等を掲揚する団体は、持参の上、掲揚してください。